

別紙様式 2

図書館情報メディア系リサーチグループ研究成果報告書

提出日 平成26年8月26日

リサーチグループの名称	
デジタル・ミュージアム(Digital Museum)	
リサーチグループ設置期間	
平成24年4月 ～ 平成26年3月	
リサーチグループ構成員	
所属・職名	氏名
図書館情報メディア系・教授	西岡 貞一
図書館情報メディア系・教授	鈴木 誠一郎
図書館情報メディア系・教授	綿抜 豊昭
研究目的	
<p>近年、ミュージアムでは展示や教育活動にデジタルメディアを利用する機会が拡大している。これからの学芸員にはメディア活用能力が求められる。</p> <p>本プロジェクトでは、デジタルメディアを使いこなすことのできる“デジタルキュレータ”を育成するための教育プログラムを開発する。</p>	
研究成果	
<p>国立西洋美術館、国立科学博物館、国立民族学博物館等国内20館、National Gallery、Metropolitan Museum 等米国8館合計28のミュージアムを調査し、ミュージアムにおけるメディア活用や人材育成に関する状況を調査した。</p> <p>博物館・美術館におけるメディア活用に関し、フィールド調査を実施し、その成果を「博物館情報・メディア論」として出版した。</p> <p>学芸員・研究者のメディアリテラシー育成のため、タブレットPCによる映像制作ワークショップ・プログラムを開発し実践活動を行った。その成果を日本教育工学会において発表した。</p> <p>展覧会「明治時代に礼法はいかにして伝えられたか—出版メディアを中心に—」の企画と開催を通じ展覧会開催手法の研究を行った。学術研究成果の一般化手法の研究を行い、その成果として「江戸の恋文」の出版、映画「武士の献立」の料理考証を行った。</p>	

代表的な研究発表・特許等の成果一覧、特記事項等

西岡 貞一

口頭発表

川澄直行、西岡貞一：講義映像におけるカットつなぎ編集の効果，日本教育工学会第 28 回全国大会講演論文集,PP.373-374,長崎 (2012)

川澄直行, 戸嶋尚香、西岡貞一：タブレット PC を用いた映像制作学習プログラムの開発,2 日本教育工学会第 29 回全国大会,秋田(2013)

学術書籍

Teiichi Nishioka , Kanae Suzuki “Development of the film making program for junior high school students” Research in Media Education . (2012), pp. 195-217, Nova Science Pub Inc

綿抜豊昭：「図書・図書館史 (ライブラリー図書館情報学)」、学文社 (2014)

書籍

西岡貞一、篠田謙一：「博物館情報・メディア論」、放送大学教育振興会 (2013)

綿抜豊昭：「江戸の恋文」平凡社(2013)

展覧会の企画・開催

綿抜豊昭：附属図書館特別展「明治時代に礼法はいかにして伝えられたか—出版メディアを中心に—」2012.10.1～10.31 展示、図録 (分担)、講演

映画

綿抜豊昭：料理考証「武士の献立」,企画・配給 松竹 (2013)